

# 病院の実力

## 2018総合編

読売新聞医療部【編】

信頼できる病院選びの決定版 YOMIURI SPECIAL 111 No.648

知っておきたい最新データ

### 5大がん

肺・胃・大腸・肝臓・乳  
婦人科がん/食道がん/血液がん

脳腫瘍/腰痛/  
形成外科  
スポーツ外傷/血管外科/痔

脳卒中/大人の心臓病

眼科医が見逃ししやすい目の異常  
台湾で卵子提供  
腰痛に負けない

インタビュー  
中井美穂 林家木久扇  
ストーマ経験 喉頭がん

1位アンケートは実施!  
掲載データ  
6266  
病院

2018総合編

読売新聞医療部 編

### 痔 肛門疾患治療最前線

広告特集

2018年2月6日発売  
「病院の実力」に掲載



医療法人一誠会

## 川崎胃腸科肛門科病院

〒316-0002 茨城県日立市桜川町3-3-19 TEL 0294-36-1800  
<http://www.kawahp.net/>



■病棟担当の看護師の方々。同院には45床の入院ベッドがあり、1泊2日の短期から10日前後の入院が可能。手術後も丁寧にケアしている。

「痔の出血だと思っていたら、実は大腸がんも併発していたというケースもあります。直腸鏡検査など体制の

整った病院で、必ず医師の診察を受けてください」と話すのは、数多くの肛門疾患を治療してきた川崎胃腸科肛門科病院の川崎俊一院長だ。痔核では、肛門の中の菌状線より内側にある場合を内痔核、菌状線より外側にある場合を外痔核といい、治療法はいほのように膨らんできている部位を切除する手術が一般的だったが、近年はジオンという薬を患部に注射するアルタ療法との併用が普及している。「当院でも併用治療が中心になっており、ジオンが効きやすい内痔核は注射、外痔核は切除するなど、痔が発症した部位や性質によって分けていきます。また、注射治療だけでも局所麻酔を使うなど、患者さんの不安や負担を抑えられ



院長

川崎 俊一

かわさきしゅんいち / 1995年東京医科大学卒業。99年博士号取得、同大学外科学第四講座臨床研修医として勤務。2000年川崎胃腸科肛門科病院勤務。2014年から現職。日本外科学会認定外科専門医、日本大腸肛門病学会認定大腸肛門病専門医。

手術後の長期的な排便機能を考慮して  
いぼ痔や痔ろうを丁寧に治療

茨城県日立市の川崎胃腸科肛門科病院は半世紀以上の歴史がある。川崎俊一院長は「肛門機能を温存しながら、長期的に良好な状態を保つ治療を心がけています」と話す。

痔核（いぼ痔）や裂肛（切れ痔）、痔ろう（あな痔）などの病気は、恥ずかしさから病院に行くのを先延ばししている人は少なくない。しかし、症状が進行すると出血や痛みを常に感じるようになり、日常生活に少なからず悪い影響が出てきてしまう。

痔核には切除手術と注射療法を併用

「痔の出血だと思っていたら、実は大腸がんも併発していたというケースもあります。直腸鏡検査など体制の



HOSPITAL DATA

医療法人一誠会  
川崎胃腸科肛門科病院

所在地 〒316-0002 茨城県日立市桜川町3-3-19  
電話 0294-36-1800  
URL http://www.kawahp.net/  
受付時間 月～金 8:30～11:00/14:00～17:30  
土 8:30～11:00/17:00～17:30  
休診日 日・祝  
診療科目 内科、外科、消化器内科、消化器外科、肛門内科、肛門外科、泌尿器科、婦人科

CLINIC DATA

みと肛門クリニック

所在地 〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978番27 IPICビル2F  
電話 029-291-3411  
URL http://www.mitokomon.net/  
受付時間 9:00～12:00 / 14:00～19:00  
休診日 水・日・祝  
診療科目 肛門内科、肛門外科

「手術後の排便機能を考慮して、肛門括約筋を傷つけないことが大切なポイント。痔ろうが悪化するとトンネルが枝分かれして複雑化することもあり、その場所や範囲を詳細に調べて、将来の生活に影響を残さないように注意深く切除しています」と話す。こうした患者一人ひとりの症状と生活環境に応じた丁寧な治療

通院便利な水戸に分院を開設

2015年には水戸市の県庁近くに「みと肛門クリニック

「痔は生活習慣、主に排便が大きな原因の一つになっています。便秘気味な方は痔核や裂肛になりやすく、常に下痢が多い方は痔ろうになりやすくなります。治療後にも再発予防として生活習慣について適切な提案をしていますのでお気軽にご相談ください」

るように配慮しています」痔ろうは肛門腺内が感染し、そこから肛門周辺に菌が侵入して膿が溜まり、肛門からではなく肛門周辺のお尻から膿が出てくることもある。完治させるには、菌の経路を切除する手術が必要だ。

「手術後の排便機能を考慮して、肛門括約筋を傷つけないことが大切なポイント。痔ろうが悪化するとトンネルが枝分かれして複雑化することもあり、その場所や範囲を詳細に調べて、将来の生活に影響を残さないように注意深く切除しています」と話す。こうした患者一人ひとりの症状と生活環境に応じた丁寧な治療



■内視鏡検査室 胃及び大腸の内視鏡検査を行っている。2015年からはレーザーを使用した内視鏡を導入しており、早期がんの発見がしやすくなった。



■CT検査室 立体型の3D画像のほか、大腸の内部(粘膜の表面)も再現。同院では大腸内視鏡または大腸CTを行い、大腸や肛門を詳細に検査している。